

鬼怒中だより



第2号

令和7年6月6日（金） 発行者 校長 高橋 裕一

生徒信条 ～ 自ら判断し、実行し、責任を持とう ～

体育祭が行われました

5月29日（木）に、体育祭が行われました。最近は地球温暖化の影響なのか、昔に比べて夏の到来が早まっているため、5月中に体育祭を開催する学校が増えております。本校も熱中症予防のために5月の開催となりました。天気が心配でしたが、好天に恵まれ、素晴らしい体育祭となりました。短期間で練習をしなければならないこともあり、競技の見直しをしたり、午前中で競技が終了したりするように配慮しました。また、熱中症対策として、テントを用意させていただきましたが、このテントの準備が大変でした。鬼怒中学校のテントだけでは足りず、鬼怒地域学校園の小学校や市民センターからお借りしました。テントの運搬では、本校の機動班の方々に運搬していただき、組み立ては業務主任や副校長をはじめとする数人の先生方に手伝っていただきました。体育祭を行うに当たって、陰で多くの方々が支援してくださっていることに深く感謝申し上げます。

2日前の27日（火）に予行を行っていましたので、競技はとてもスムーズに進み、予定通り終了することができました。開会式において、生徒の皆さんに、「本日の体育祭を通して、クラスみんなで協力して、全力を尽くすことが大切です。クラスのために一人一人が頑張りましょう！」と話をさせていただきましたが、競技は本当に熱が入った素晴らしいものとなりました。



閉会式においては、「もちろんクラス対抗ですので、勝利を目指して全力で頑張ったと思いますが、思い通りの結果にならない場合もあります。それでも、今まで積み重ねてきたひたむきな練習や、全力で臨んだ本番での協力は、素晴らしく価値のあるものであるということを忘れないでほしいです。そして、さらにクラスの結束を深め、次なる目標である合唱コンクールに向かって頑張ってもらいたい」と話をしました。秋の合唱コンクールが楽しみです。

「当たり前のことを当たり前に行える学校」とは

今年度私は、「みんなの力で鬼怒中学校を「当たり前のことを当たり前に行える学校」にし、「誇れる学校」にしていこうという新しい目標を立てました。本校には、「自ら判断し、実行し、責任を持とう。」という、本校生徒の信条となるスローガンがあります。このスローガンには様々な活動を通して、自分自身で物事を判断し、行動しようというメッセージが込められています。

物事を判断するには、ある程度の「常識」が必要になりますが、「常識」は人や場所、時代等によって違います。「常識」と同じ意味を持つ「当たり前のこと」をテーマにして物事を考えてみたいと思い、「『当たり前のことを当たり前に行う』とはどういうことか?」という問いを春休みの宿題として、2・3年生に投げかけました。グーグルのクラスルームを通して、多くの意見をいただいておりますので、ご紹介いたします。



- ・挨拶をする、挨拶を交わす・・・31名
- ・無意識に・自然と・習慣として物事を行うこと・・・19名
- ・課題の提出期限を守る、宿題をする・・・14名
- ・人を助ける・思いやる、お手伝いをする・・・11名
- ・学校に毎日行く、授業を真面目に受ける、毎日勉強をする・・・9名
- ・周りの人に感謝する、お礼を言う、「ありがとう」と言う・・・7名
- ・決められたルールや約束を守ること・・・7名
- ・身の回りをきれいにする、ゴミを拾う、ポイ捨てをしない・・・4名

生徒の皆さんの真剣度が伝わってくるアンケート結果でした。本校生徒が考える「常識」＝「当たり前のこと」は、上記の通りですが、シンプルな言葉にすると次のようになります。

「挨拶」、「習慣」、「生徒としての義務を果たすこと（課題等）」、「おもいやり」、「感謝」、「ルールや約束事を守ること」、「清掃」

今回このようなアンケートをとらせていただき、鬼怒中学校の生徒一人一人が物事を深く考えていることに気づかされました。

結論として、「当たり前のことを当たり前に行う」とは、「物事を深く考え、常識とは何かを判断し、行動すること」だと実感しました。まさに、「自ら判断し、実行し、責任を持とう。」という、本校のスローガンそのものです。

以上のことを6月5日に行われた生徒総会でお話ししましたが、さらに付け加えて、このようなことも話したので、振り返ってください。

「物事をしっかり考え、行動するためには、『クリティカルシンキング』を実践してください。『クリティカルシンキング』とは、物事を深く吟味し、よりよい判断を下すための思考方法です。日本語では「批判的思考」と訳されますが、必ずしも批判的な意味合いだけではなく、より建設的な側面も含まれています。単に他者の意見を鵜呑みにするのではなく、客観的に評価し、根拠や論理を検討することで、より適切な判断ができるということです。

今は、ネット等から多くの情報を得ることができます。しかし、真実ではない間違った情報もたくさんあります。普段から真実かどうか『クリティカルシンキング』する必要があります。本日の生徒総会に向けて、皆さんは疑問に思うことを意見として投稿したはずですが。そのようなときもこの『クリティカルシンキング』が役に立ちます。ぜひ実行してみてください。」

これからも日常生活の中で、一人一人が常に物事を深く考え、常識とは何かを判断し、行動しましょう。そして、鬼怒中学校を「誇れる学校」にしていきましょう！！